

縦走しました宮之浦岳

山行日 2022年11月20(日)～21日(月)

参加者 L N田k SL H谷a T蔵d Y口m S氏(会員外) O川k(記)

コース

11/20 民宿 4:00=淀川登山口 5:30/5:40-淀川小屋 6:35/6:53-花之江河 8:27/8:40-宮之浦岳 11:35/11:50-新高塚小屋 15:10

11/21 新高塚小屋 4:30-縄文杉 6:07/6:22-大株歩道入口 8:20/8:30-辻峠 10:32/10:43-白谷山荘 11:20/11:25-白谷雲水峡登山口 12:25/13:00=宮之浦 13:28

宮之浦岳の縦走することが出来るかどうか、行く前はとても不安でした。泊る所は避難小屋、初日の行程10時間の予定です。

11月19日屋久島に現地集合です。東京は快晴でしたが、鹿児島は雨、そして私たちが乗った鹿児島から屋久島行きの飛行機が飛び立つ時、雨のため島に着陸できず鹿児島に引き返すかもしれませんと、アナウンスがありました。飛行時間は30分ですが、屋久島空港になかなか着陸できず、空港上を旋回し1時間後にやっと着陸できました。前日は着陸できなかったそうです。

20日朝4時にタクシーが宿に迎に来て、淀川登山口までいきました。外は雨そして真っ暗でした。5時30分歩き始め淀川小屋についた頃に明るくなり歩きやすくなりました。分岐の花之江河は、大きな箱庭のような景色の良いところで、島の東南部の集落からの登山道の合流地点です。ここから宮之浦岳の登山道が、1本に集約されています。ロープがかかる道や小さい沢を渡り、急坂を登ると森林限界点です。水場があり、頂上まであと1kmの急坂が始まりました。山頂は、双耳になっており西峯が頂上です。雨天のため展望はありませんでした。そこから急坂を下り、アップダウンを繰り返し「平石岩屋」で宮之浦岳、永田岳が一望できました。ここから急坂を下るとまた森の世界に入り、宮之浦溪谷の開けた景色、巨大な岩、安房川の谷を見渡しさらに下り新高塚小屋に到着しました。小屋は60人収容で大きく、水場もトイレもありました。すいていたので6人分の十分なスペースが確保できました。1日中雨でしたが寒くなかったです。やはり南の島の気候なので。夕食を済ませ明日に備えて6時には、シュラフに入りました。

21日3時30分起床、4時30分小屋出発、空には月も星もあり天気は晴れでした。縄文杉の所は、まだ暗く懐中電灯を照らして見ました。推定樹齢7,200年と言われ胸高周囲16.4m本当にデカイ巨木です。木が展望デッキで囲まれていました。「これが世界遺産」

との思いを込めて見ました。空も段々と明るくなり、屋久島らしい素晴らしい眺めで「巨木の森」と言われているところを通り、大王杉・ウイルソン株と多くの巨木がありました。

大株歩道入口に着きましたら、登山者の多さに驚きました。縄文杉を見に行く人たちがいました。ここから安房森林鉄道のトロッコ道を歩きました。線路と登山道が共用しており、トロッコとは会いませんでしたが多くの人とすれ違いました。以前は、木を運んでいたそうですが、現在はトイレのメンテナンスに使っているそうです。トロッコ道は、延々と続き高低差はないのですが、同じ景色が続き、あきました。

「楠川別れ」でトロッコ道から別れ、登山道を登り、苔むす森を下って白谷雲水峡に到着です。ここからバスで、宮野之浦まで行き、前日泊った宿に荷物を受け取りにいきました。

リーダーが、1日目の途中で、山行計画書や現金等がはいったケースをどこかに置き忘れた、下山したら警察に連絡しなくてはと、言っていました。私達が宿に着いたとき、リーダーの携帯電話が鳴り「出発した淀川登山口のトイレにケースがあり、中を見たら、21日宮之浦港から指宿港に出港とあるので、今港にいます」との通話でした。「今宿にいます」と言ったら、宿まで持ってきてくれました。届けてくれた人は、現地のガイドの奥さんで、ご主人とお客さんを登山口に車で送った時ケースを見つけたそうです。一同この行為に島の人の「気を使ってくださる優しさ」に感動でした。

屋久島には、おいしいものは色々あるのでしょうか、私たちが食べた、飛び魚のから揚げと塩焼き、そして飛び魚の出汁のあごスープ味のラーメンがおいしかったです。

色々とお手をしてくださったリーダー、そしてメンバーの皆様のおかげで、充実した、達成感のある、楽しい山行でした。感謝・感謝です。

